



# Report '14

The Kurashin public information journal

## 倉吉信用金庫

平成26年9月期 ミニディスクロージャー誌



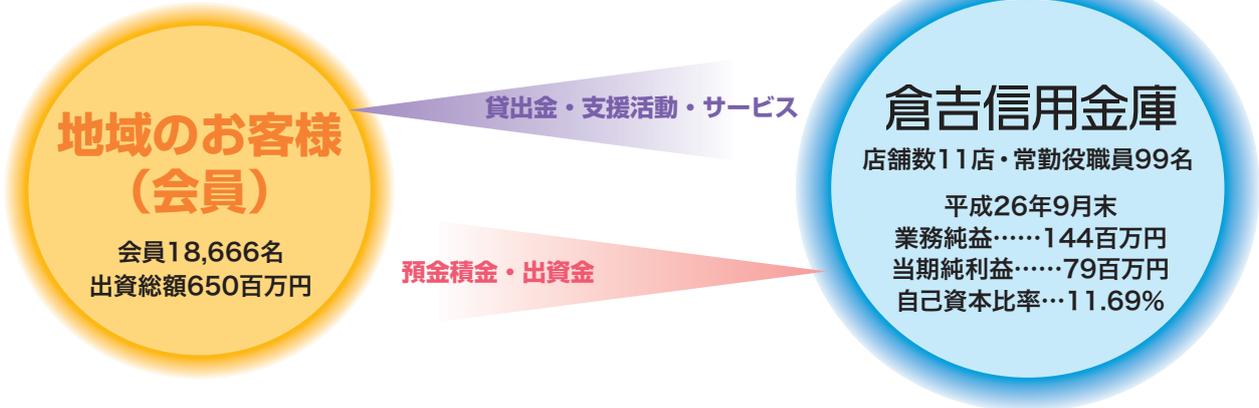
倉吉信用金庫  
KURAYOSHI SHINKIN BANK

# 倉吉信用金庫と地域社会

## 当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、鳥取県の中部地域を主な営業エリアとして、地元の中小企業や住民が会員となって、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預りした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要としているお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として、地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



### ●預金について

(地域からの資金調達の状況)

預金積金残高 72,667百万円

うち個人預金 56,761百万円

当金庫では、地域のお客様の着実な資金づくりのお手伝いをさせていただくため、新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

当金庫では、特に定期積金を通じて、それぞれのお客様のライフワークの実現に向けた蓄財のお手伝いをさせていただきます。

(取扱商品、平成26年発行のディスクロージャー誌の21ページをご覧ください。)

### ●余裕資金の運用について

余裕資金運用残高 35,547百万円

うち預け金 23,041百万円

うち有価証券 12,506百万円

余裕資金の運用については、国債や政府保証債、地方債等を中心とした格付の高い債券や信金中金への預け金などで運用し、リスク回避に努め、インカム・ゲイン中心の運用に努めています。

### ●顧客ネットワークへの取組み (文化的・社会的貢献活動について)

当金庫では、地域金融機関として「地域と共に生きる」をテーマに、金融サービスの提供を通じ、地元企業の発展や、地域にお住まいの皆様のご生活の向上、豊かで活力ある地域社会の実現を願い、地域のイベント活動や社会福祉活動に参加しています。

また、当金庫の主催によるお客様を対象とした経済講演会や囲碁大会、健康ウォークを開催し、地域で事業を営むお客様に先導で組織する外郭団体の組織化にも力を注いでいます。

### ●貸出金について

(計数は平成26年9月末日現在)

(地域への資金供給の状況)

貸出金残高 40,726百万円

「地元で集めた預金は、すべて地元へ還元します」をモットーに、地域経済の活性化に資するため、円滑な資金供給に努め、地域の皆様を金融面からご支援しています。

(取扱商品は、平成26年発行のディスクロージャー誌の22～23ページをご覧ください。)

事業者	21,052百万円
個人	13,404百万円
地公体	6,269百万円
設備資金	14,247百万円
運転資金	26,479百万円
住宅ローン	7,152百万円
消費者ローン	1,955百万円
預貸率	56.04%

### ●お客様への支援活動・サービスについて

景気回復への道筋が徐々に見え出しているものの、当地区においては、依然として先行不透明で、業績回復が遅れているお客様に対し、本部組織内に資産管理部企業再生課を設置しております。

再生支援においては、業務内容に踏み込んだ改善策・経営改善計画書のアドバイス等、金融面だけでなく幅広く経営の立て直しのご相談に応える他、創業・新規事業に関する相談も営業店窓口を通じ積極的に応じ、生きた支援に心がけています。

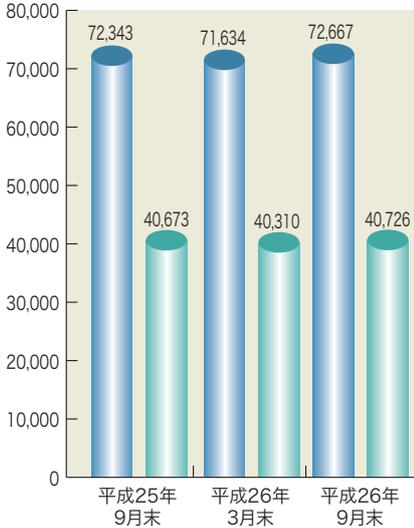
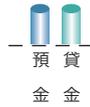
また、経営者の異業種交流、親睦、経営に関する勉強の場として、各営業店に取引先経営者で構成する外郭団体を設置し、研修会や経済・文化講演会等を行い、お客様相互の発展と繁栄をお手伝いしております。その他法律・税務・年金等に関するご相談は、外部の有資格者による相談日を毎月定期的に設け、あらゆるお客様ニーズに応えられる体制を整えております。

# 平成26年度〈9月期〉の業績

## 預金と貸出金の状況

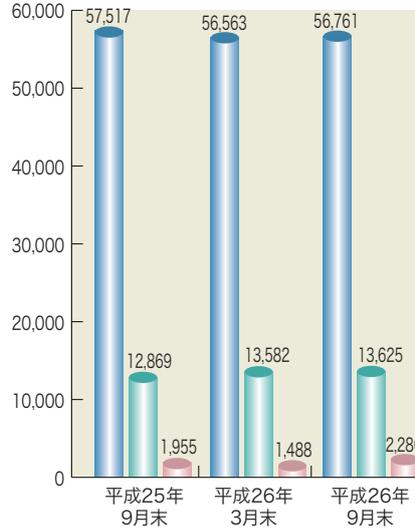
### 預金積金・貸出金

(単位:百万円)



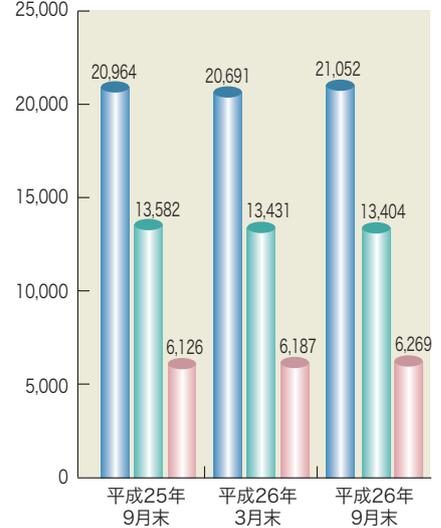
### 個人・法人預金

(単位:百万円)



### 事業者・個人・地公体貸出金

(単位:百万円)



預金積金残高は、金融機関預金が減少したものの、個人預金、法人預金および公金預金が増加した結果、前期末残高に比べ1,033百万円増加(1.44%増)の、72,667百万円となりました。

一方、貸出金残高は、個人事業向け貸出が伸び悩んだものの、法人向け貸出および一般消費者ローンなどの個人向け貸出および地方公共団体向け貸出が堅調に推移し、前期末残高に比べ415百万円(1.03%)増加の40,726百万円となりました。

## 中間決算(平成26年9月期)の収益・利益の状況

損益状況については、景気回復の遅れによる資金需要の低迷に加え、市場金利低下により貸出金利息収入が減少しました。また、有価証券残高は増加したものの市場金利低下によって有価証券利息収入も減少し、資金運用収益は減少となりました。

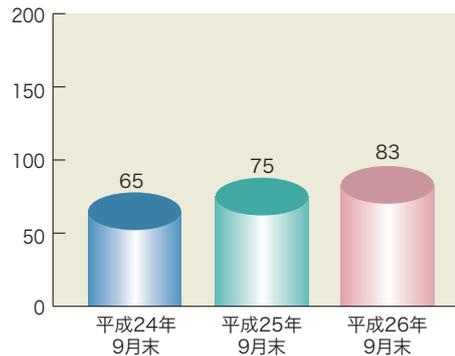
一方、経費の節減によって支出額を抑制するなど利益増加要因があった事に加え、与信費用の減少などもあり、経常利益は前年同期比8百万円増加の83百万円となりました。

また、中間純利益は前年同期比8百万円増加の79百万円となりました。

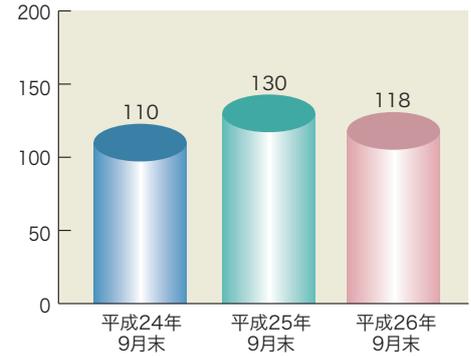
### ◇コア業務純益◇

コア業務純益とは、業務純益から一時的な変動要因(一般貸倒引当金繰入額および国債等債券関係損益)の影響を除いたものであり、金融機関本来の業務(貸出業務など)による収益力を表しております。

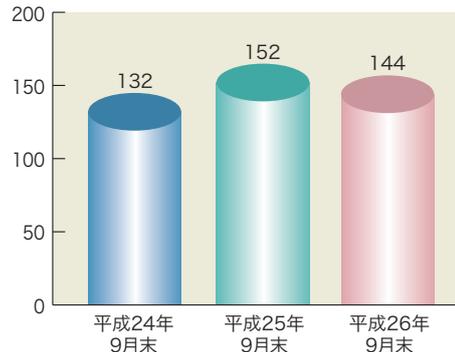
### 経常利益 (単位:百万円)



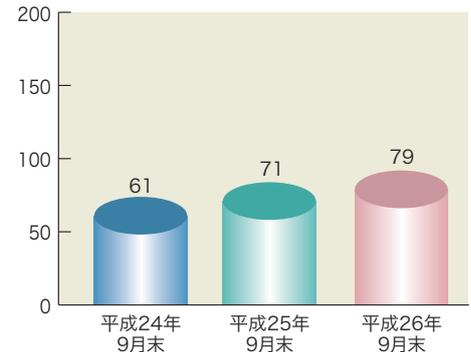
### コア業務純益 (単位:百万円)



### 業務純益 (単位:百万円)



### 当期純利益 (単位:百万円)

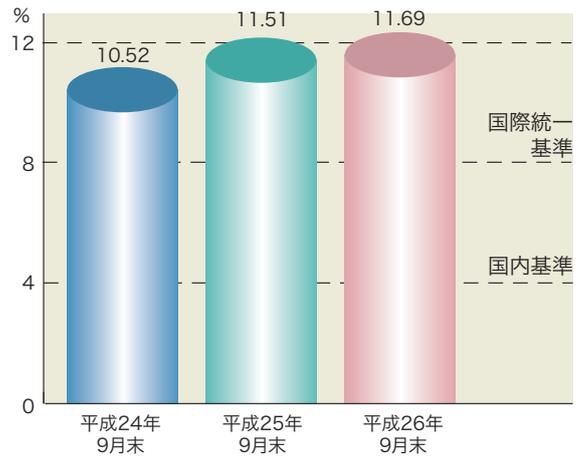


# 金融機関の健全性をあらわす自己資本比率

平成26年9月期の自己資本比率は、11.69%となりました。金融機関の健全性の目安である国内基準4%、国際統一基準8%を上回っており、今後も年度ごとに掲げる事業計画に基づいた業務推進を通じ、そこから得られる利益による資本の積上げを第一義的な施策として考え、地域の皆様から一層信頼される金融機関となるよう、さらに健全な経営体質づくりに努めてまいります。

注) 9月期は、仮決算のため「信用金庫半期情報開示に関する基本的考え方」に基づく仮算定値です。

## 自己資本比率



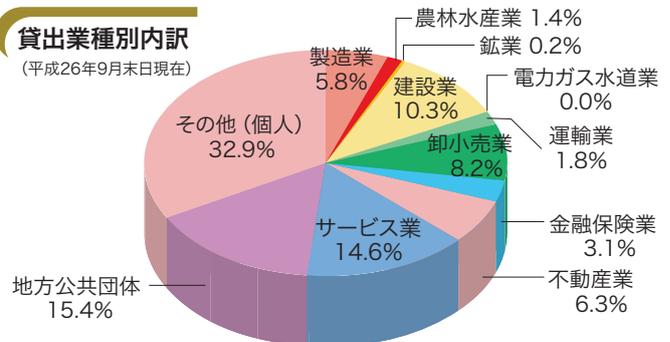
# 貸出の業種別内訳

「地元になくてはならないくらしん」として、地元で集めた預金は地元の方々にご利用いただいています。地域経済の発展を願い、中小企業や個人のお客様へのご融資を行っています。

平成26年9月期における貸出金の残高構成比は、一般事業先51.7%、個人32.9%、地方公共団体15.4%となっています。

## 貸出業種別内訳

(平成26年9月末日現在)



# 資産内容について

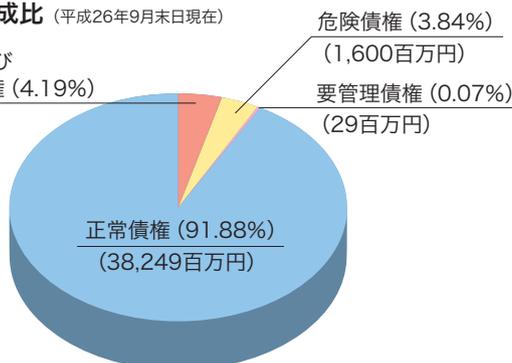
金融再生法上の不良債権の合計は、3,375百万円で対年度末比(平成26年3月末)58百万円増加、同法による不良債権比率は、8.11%で対年度末比(平成26年3月末)0.05ポイント増加となりました。

また、金融再生法による開示債権額は、貸借対照表の貸出金およびその他資産の中の未収利息、仮払金および債務保証見返の各勘定に区分したもので、下記の問題となる債権に対して、貸倒引当金および担保・保証等で93.75%保全されています。

## 開示債権の構成比

(平成26年9月末日現在)

破産更生債権およびこれらに準ずる債権 (4.19%)  
(1,746百万円)



## 金融再生法に基づく開示債権と保全状況

(平成26年9月末日現在)

(単位:百万円)

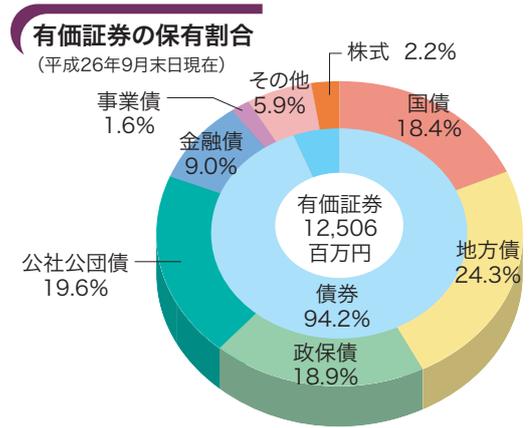
	残高
破産更正債権およびこれらに準ずる債権	1,746
危険債権	1,600
要管理債権	29
小計……(A)	3,375
正常債権	38,249
合計	41,624
(単位:百万円)	
保全額……(B)	3,165
担保・保証等	2,265
貸倒引当金	900
保全率(B) / (A)	93.75%

注) 1. 「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。  
 2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。  
 3. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。  
 4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。  
 5. 貸倒引当金は個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

# 有価証券の保有状況

当金庫の有価証券運用のスタンスは、安全性を最重要視し、利息配当金収入中心の運用に心がけています。そのため運用は主に国内債券で行っております。

平成26年9月末日現在の有価証券のうち、債券で94.2%、公共債のみでも81.2%を占めており、安全性を最重視しております。



## 有価証券の時価状況 (平成26年9月末日現在)

### 満期保有目的の債券 (単位: 百万円)

	種類	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	100	105	5
	地方債	67	71	3
	短期社債	-	-	-
	社債	485	511	26
	その他	-	-	-
	小計	653	689	35
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	-	-	-
	地方債	-	-	-
	短期社債	-	-	-
	社債	-	-	-
	その他	-	-	-
	小計	-	-	-
合計		653	689	35

### その他有価証券 (単位: 百万円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	189	149	39
	債券	10,548	10,183	364
	国債	2,203	2,168	34
	地方債	2,971	2,900	71
	短期社債	-	-	-
	社債	5,373	5,114	258
	その他	260	238	21
	小計	10,998	10,571	426
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	48	56	△8
	債券	589	590	△0
	国債	-	-	-
	地方債	-	-	-
	短期社債	-	-	-
	社債	589	590	△0
	その他	170	191	△20
小計	808	837	△29	
合計		11,806	11,409	396

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券 (単位: 百万円)

	貸借対照表計上額
非上場株式	37
組合出資金	9

この街と生きていく。もっと大きくあなたの未来。

## ■ 企業理念 ■

### ◆ 基本理念

地元と共に生きる

### ◆ 経営理念

#### 1. 信頼

倉吉信用金庫は、法令やルールを遵守すると共に社会的規範を全うするため、法令等遵守を経営の最優先課題と位置づけ、誠実かつ公正な業務運営を行います。

#### 1. 変革

倉吉信用金庫は、時代の変化や、地域の要請を的確に捉え、迅速に対応するため、積極かつ堅実な経営を行います。

#### 1. 地域貢献

倉吉信用金庫は、地域のすべての企業、勤労者、家庭の繁栄と幸せをもたらすため貢献します。

## ■ 経営方針 ■

### ◆ 経営方針

倉吉信用金庫の創業の原点である相互扶助の精神を大切に、「地域の為に貢献する」という使命感を再認識し、今こそ地域社会の再生と活性化を目指し「使命共同体」としてその中核となって、中小零細な地元企業の支援、地域住民の豊かな生活の向上、活力ある地域社会の実現に向けて貢献していきます。そのために強固な経営基盤をさらに確固たるものにし、「小さくても最良のくらしん」を実現します。

### ◆ 行動基準

#### 1. 礼儀

我々は、礼儀を基本とした誠意ある行動で、地域からの信頼を高めます。

#### 2. 元氣

我々は、健康管理を怠らず、明るく、気みなぎる行動で、地域からの共感を受けます。

#### 3. 向上

我々は、自己啓発を心掛け、仕事に創意を生かし、顧客の満足度を高め地域に奉仕します。

# 自己資本の充実の状況

## ●自己資本の構成に関する開示事項

(単位:百万円)

項 目	平成25年9月末
基本的項目 (A)	2,963
補完的項目 (B)	193
自己資本総額 [(A) + (B)] (C)	3,156
控除項目計 (D)	—
自己資本額 [(C) - (D)] (E)	3,156
リスク・アセット等計 (F)	27,405
単体Tier1比率 (A/F)	10.81%
単体自己資本比率 (E/F)	11.51%

(単位:百万円)

項 目	平成26年9月末
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	3,347
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	—
自己資本の額 [(イ) - (ロ)] (ハ)	3,347
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	28,625
自己資本比率 [(ハ) / (ニ)]	11.69%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」が平成25年3月8日に改正され、平成26年3月31日から改正後の告示が適用されたことから、平成25年9月期においては旧告示に基づく開示、平成26年9月期においては新告示に基づく開示を行っております。

なお、当金庫は国内基準を採用しております。

## ●自己資本の充実度に関する事項

(単位:百万円)

	平成25年9月期		平成26年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額の合計	25,082	1,003	26,326	1,053
ロ. オペレーショナル・リスク	2,322	92	2,299	91
ハ. 単体総所要自己資本額 (イ+ロ)	27,405	1,096	28,625	1,145

- (注) 1. 所要自己資本の額 = リスク・アセット × 4%  
 2. 当金庫は、基礎的手法によりオペレーショナル・リスクを算定しています。  
 <オペレーショナル・リスク（基礎的手法）の算定方法>  

$$\frac{\text{粗利益（直近3年間のうち正の値の合計額）} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$
  
 3. 単体総所要自己資本額 = 単体自己資本比率の分母の額 × 4%

# 金融円滑化への取組み状況について

倉吉信用金庫は、地元の中小企業および個人のお客様の幅広い資金ニーズに、迅速かつ安定的にお応えするため、「地域金融円滑化のための基本方針」を定め、地域金融の円滑化に全力を傾注して取り組んでいます。

平成26年9月末における当金庫の金融円滑化への取組み状況をお知らせいたします。

- 金融円滑化管理に関する基本方針について  
当金庫の、金融円滑化への取組方針は以下の通りです。

## 《取組方針》

地域の中小企業および個人のお客様への安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。

私どもは、お客様からの資金需要や貸出条件の変更等のお申込があった場合には、これまでと同様、お客様の抱えている問題を十分把握したうえで、その解決に向けて真摯に取り組めます。

- お借入条件の変更等に係る苦情相談を適切に行うための体制について

### ①苦情相談窓口の設置

本部コンプライアンス統括室に苦情相談窓口を設置し、金融円滑化に関するお客様からの苦情、相談メール、専用フリーダイヤルを新たに設置し、真摯に対応する体制としております。

(平成22年1月18日 苦情・相談メール開設、同25日 専用フリーダイヤル開設)

### ②お客様からの苦情、相談記録の作成と保存

お客様からございました、苦情・相談については、その内容を適切に記録・保存するとともに、委員会で協議を行い、関連部署と協力し、問題解決、改善に努めてまいります。

- 中小企業者のお客様の事業についての改善または再生のための支援を行うための体制について

### ①経営相談・経営指導及び経営改善に向けた取り組み

お客様からの経営相談については営業店が真摯にお話をお伺いし、お客様の抱えている問題を十分認識したうえで、その解決に向けて取り組んでまいります。

経営改善計画を策定する意思のあるお客様から要請がある場合には、経営改善計画の策定を支援しております。

また、お借入条件の変更等に際して、経営改善計画を策定した場合には、当該改善計画の進捗状況を適切に管理するとともに、必要に応じて経営相談・経営指導を行うなど、経営改善に向けた働きかけを行っております。

経営改善・指導は本部企業再生課がサポートいたします。

### ②経営相談・経営指導及び経営改善に向けた能力向上施策

お客様の事業価値を見極める能力（目利き力）を向上させるための研修を実施し、当該能力の向上を目的とした人材育成に努めてまいります。

## ●金融円滑化法期限到来後における貸付条件の変更状況

(金融円滑化法は平成25年3月末で終了しましたが、本票は平成25年4月以降の受付を加算して集計したものであります。)

- 債務者が中小企業者である場合

### (1) 貸付けの条件の変更等の申込を受けた貸付債権の額

(単位：百万円)

	平成24年 3月末	平成24年 6月末	平成24年 9月末	平成24年 12月末	平成25年 3月末	平成25年 6月末	平成25年 9月末	平成25年 12月末	平成26年 3月末	平成26年 6月末	平成26年 9月末
貸出条件の変更等の申込を受けた貸付債権の額	5,997	6,318	6,956	8,041	8,930	9,377	9,966	10,307	11,107	11,376	11,718
うち、実行に係る貸付債権の額	5,752	6,081	6,667	7,797	8,449	9,097	9,577	9,987	10,643	10,936	11,237
うち、謝絶に係る貸付債権の額	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82
うち、審査中の貸付債権の額	9	0	53	8	245	7	91	23	138	115	154
うち、取下げに係る貸付債権の額	153	153	153	153	153	190	215	215	243	243	243

### (2) 貸付けの条件の変更等の申込を受けた貸付債権の数

(単位：件)

	平成24年 3月末	平成24年 6月末	平成24年 9月末	平成24年 12月末	平成25年 3月末	平成25年 6月末	平成25年 9月末	平成25年 12月末	平成26年 3月末	平成26年 6月末	平成26年 9月末
貸出条件の変更等の申込を受けた貸付債権の数	530	555	615	684	740	774	824	865	912	936	967
うち、実行に係る貸付債権の数	505	531	584	659	711	744	792	834	875	902	928
うち、謝絶に係る貸付債権の数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
うち、審査中の貸付債権の数	2	1	8	2	6	5	5	4	9	6	11
うち、取下げに係る貸付債権の数	16	16	16	16	16	18	20	20	21	21	21

- 債務者が住宅資金借入者である場合

### (1) 貸付けの条件の変更等の申込を受けた貸付債権の額

(単位：百万円)

	平成24年 3月末	平成24年 6月末	平成24年 9月末	平成24年 12月末	平成25年 3月末	平成25年 6月末	平成25年 9月末	平成25年 12月末	平成26年 3月末	平成26年 6月末	平成26年 9月末
貸出条件の変更等の申込を受けた貸付債権の額	524	584	635	635	674	685	718	718	752	770	787
うち、実行に係る貸付債権の額	435	467	525	565	598	615	628	648	682	682	717
うち、謝絶に係る貸付債権の額	7	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
うち、審査中の貸付債権の額	41	46	39	0	5	0	19	0	0	18	0
うち、取下げに係る貸付債権の額	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39

### (2) 貸付けの条件の変更等の申込を受けた貸付債権の数

(単位：件)

	平成24年 3月末	平成24年 6月末	平成24年 9月末	平成24年 12月末	平成25年 3月末	平成25年 6月末	平成25年 9月末	平成25年 12月末	平成26年 3月末	平成26年 6月末	平成26年 9月末
貸出条件の変更等の申込を受けた貸付債権の数	51	56	60	60	65	66	71	71	74	75	77
うち、実行に係る貸付債権の数	44	47	52	54	58	60	63	65	68	68	71
うち、謝絶に係る貸付債権の数	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
うち、審査中の貸付債権の数	2	3	2	0	1	0	2	0	0	1	0
うち、取下げに係る貸付債権の数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

# 地域貢献活動

当金庫では、地域金融機関として、「地域と共に生きる」をテーマに金融サービスの提供を通じ、地元企業の発展や、地域にお住まいの皆様の生活の向上、豊かで活力ある地域社会の実現を願い、地域のイベント活動や社会福祉活動に参加しています。

## 6月15日「信用金庫の日」

毎年、6月15日は「信用金庫の日」として全国の信用金庫で様々なイベントが行われておりますが、当金庫では地域貢献活動として、全店一斉による周辺道路や公共施設のクリーン活動を実施しました。また、各営業店では、お客さまへの日ごろの感謝を込めて、各種イベントを実施したり、お客さまの作品展等を行いました。



全店一斉のクリーン活動

### 地域のイベントへの参加



みつぼし踊り参加

倉吉の夏の恒例行事であるくらし打吹まつりには、職員の「みつぼし踊り」参加をはじめ、地域の方々と共に祭りを盛り上げています。また、各地域で行われる行事にも支店単位で積極的に参加しています。

### イベントの提供



くらしん健康ウォーク

毎年秋に健康ウォークの開催や、プロ棋士を招いた年4回の囲碁大会などのイベントを定期的に提供し、大勢の方々に参加いただいています。

### 外郭団体の活動



ヤングコアの歳末助け合い募金

各支店には外郭団体を組織しており、旅行・網引きや、年金友の会のグラウンドゴルフ大会等、様々な行事で会員相互の親睦を図ると同時に、講演会・研修会等の会員に役立つ活動を行っています。また、ヤングコアでは、歳末助け合い募金や清掃活動を行っています。



## — 店舗一覧 —

本 部	〒682-0806	倉吉市昭和町1丁目60 倉吉郵便局私書箱13号	TEL 0858 (22) 1111	FAX 0858 (22) 5607
本店営業部	〒682-0806	倉吉市昭和町1丁目60	TEL 0858 (22) 6108	FAX 0858 (22) 6110
うつぶぎ支店	〒682-0886	倉吉市大正町1075-4	TEL 0858 (22) 4154	FAX 0858 (22) 4157
浦安支店	〒689-2352	東伯郡琴浦町浦安213-2 東伯郵便局私書箱4号	TEL 0858 (52) 2351	FAX 0858 (52) 2352
由良支店	〒689-2221	東伯郡北栄町由良宿551-4	TEL 0858 (37) 3711	FAX 0858 (37) 3712
東郷支店	〒689-0714	東伯郡湯梨浜町龍島536-3	TEL 0858 (32) 0631	FAX 0858 (32) 0632
倉吉駅前支店	〒682-0021	倉吉市上井町2丁目3-9	TEL 0858 (26) 2951	FAX 0858 (26) 2953
羽合支店	〒682-0721	東伯郡湯梨浜町田後340-3	TEL 0858 (35) 2641	FAX 0858 (35) 2642
西倉吉支店	〒682-0851	倉吉市西倉吉町20-15	TEL 0858 (28) 3111	FAX 0858 (28) 3112
関金出張所	〒682-0411	倉吉市関金町関金宿247-1	TEL 0858 (45) 3121	FAX 0858 (45) 3122
三朝支店	〒682-0121	東伯郡三朝町大瀬1036-4	TEL 0858 (43) 2111	FAX 0858 (43) 2112
真庭支店	〒717-0613	岡山県真庭市藤山下徳山43-3	TEL 0867 (66) 4368	FAX 0867 (66) 4374